

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立北宇和高等学校三間分校
学校番号(43)

評価実施日	令和6年2月19日(月)		
委員	氏名	所属等	備考
	稲田 司	司法書士	
	渡辺 吉男	道の駅みま 出荷部会長	
	谷口 友宏	宇和島市立三間公民館長	
	樋口 宏治	吉田三間商工会議所副会長	
	兵頭 陽介	P T A会長	
	高野 良二	宇和島市立三間中学校教頭	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (学校評価アンケートを踏まえて)	
(1) 学校経営について 生徒一人一人のよさを見つめ伸ばす教育の実践を行っている。教職員の働き方改革は進めていかなければならないが、一歩踏み出して取り組んだことが後々大きな財産になることもあるので、学校には可能な範囲で生徒の背中を押ししてほしい。	引き続き、三間高等学校の教育目標であった「生徒一人一人のよさを見つめ伸ばす教育」を掲げ、実践していきたい。地域に根差した活動などを積極的に行い、三間分校としての魅力を更に高めていきたい。
(2) 教科指導について 電子機器が発達し、学習方法も変化し、先生方が生徒に対して細かい気遣いをしてくれているのが分かる。多様な生徒に対応するために、学習支援員や補助教員を配置するなど、きめ細かな指導を行っている。家庭学習習慣については、身に付いていないと感じる。分かる授業も大事だが、身になる授業をお願いしたい。	学習への目的意識を高めるとともに、宿題等の工夫やICTの活用による取り組みやすい課題の工夫を進めていきたい。生徒が自信を持てるように、学習の成果発表や協働活動の回数を増やしていき、授業改善を図りたい。
(3) 生徒指導について 生徒は、挨拶や正しい言葉遣いについて、できていると思っているようだが、保護者や教職員は物足りなさを感じている。大きな声で挨拶ができる元気な生徒を育てほしい。 生徒数の減少で、部活動が低迷しているのが残念である。学校からの配布物を保護者に渡していないことについて、学校としても対策をしてほしい。 今後も地域と連携した活動を積極的に行ってほしい。	挨拶については、生徒会や委員会など生徒の力を発揮する機会を設けたい。 部活動に関しては、本校との連携を今以上にいき、生徒に提供していきたい。 校内での情報発信については、さらなる工夫をしていきたい。保護者への大切な連絡については、マチコミメールを活用したい。
(4) 進路指導について 進学も就職も生徒の進路希望実現のために丁寧な指導が行われている。進路決定については、生徒の意見を尊重しつつ、多方面からの意見も必要だと思う。第一候補だけではなく、いくつかの候補の提案をお願いしたい。 いろいろな資格を取得させていただいているため、社会に出て強みになると感じた。今後も資格取得に挑戦させてほしい。	実践的な講座や地域の方を講師に招いた人材育成講座をさらに充実させ、地域に貢献する生徒を育成できるように、きめ細かな指導を行ってほしい。 資格取得に向けた取組として、「総合的な探究の時間」を活用しているが、それ以外にも何か考えていきたい。
(5) 人権教育について 毎学期、「悩みに関するアンケート」を実施し、生徒の実態把握に努められている。また今年は「人権だより」を昨年までとは趣向を変えたり、2学期の全校面接では、生徒が面接を希望する先生を選べる形に変えたり、工夫して実施してもらっている。今後も積極的に行ってほしい。	生徒の心の悩みに対する指導・支援体制の一層の充実を図るとともに、生徒一人一人を見つめ伸ばす教育の実践を今後も継続していきたい。 「人権壁新聞」「人権だより」の内容をさらに充実させたい。
(6) 特別支援教育について 様々な問題を抱えた生徒がいて、その子たちは社会での生きづらさを感じている。一人一人の生徒に応じた支援をお願いしたい。少人数できめ細やかな指導ができることが、三間分校の一番の強みだと思う。保護者が子供を安心して預けられる学校があることはいいことだと思う。	生徒数が減少する中、来年度以降も、支援を必要とする生徒は増加していく可能性が高い。これまで行っている学習支援員や授業補助教員による学習支援を継続し、生徒一人一人のニーズに対応したきめ細かな指導を行いたい。通級指導についてもより効果が上がるように工夫していきたい。
(7) 学校安全と防災について 防災に関する取組が三間分校は進んでいて感心している。避難訓練も予告なしで行ったり、こども園の避難訓練に協力したり、消防団とともに防災について学ぶ場を設定したり、充実していると感じた。これからは、小中高の連携も行いながらやってほしい。	避難訓練はさらに実際の被害を想定した訓練の企画・実践を図ってほしい。今後も防災訓練や防災行事、高校生防災士の養成など、高校生の防災意識を高めるための特色ある活動に取り組んでいきたい。
2 来年度の学校運営への提言 三間分校の閉校後が心配である。地元から高校生の元気な姿が見られなくなる。今後、残り少ない時間だが、地域づくりの話合いの場を一緒にできるようにしたい。また、三間で学んで育っていく生徒たちが、三間分校を卒業したという誇りを持って、胸を張って巣立つことのできる取組をしてほしい。 三間分校の施設を宇和島地区の避難所の拠点にしてほしい。	閉校のときに「三間分校はなくてはならない学校だった」と感じてもらえるように頑張っていきたい。 施設の活用については、北宇和高校に準備委員会があるので、そこで話し合っていきたい。